

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年12月3日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから12月3日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、来週の委員会ですけれども、午後に臨時会議が設定されています。公開の臨時会議で、関西電力経営層との意見交換ということになります。

今回はウェブではなくて対面ということになっています。関電からは、森本CEOと松村CNOが参加されます。

次が、2ページ目の12月7日の（3）、核燃料施設等の廃止措置に係る審査会合というものですけれども、今回の議題はふげんについてとなります。

9月3日に申請があったもので、審査会合、前は9月28日にやっていますので2回目ということになります。前回は引き続き、セメント混練固化装置について、前回の議論を踏まえた議論が行われるということのようです。

次が、12月7日の（4）、第1018回審査会合というものになりますけれども、議題は2つありまして、1つが島根2号炉の設計工事計画認可です。

申請書の補正が10月1日あって、今回初の会合ということになります。

2つ目が、柏崎刈羽の第3直流電源の許可というもので、これも11月11日に申請があって、今回が初の会合ということのようです。

一番最後の「書面会合・書面審査」というところですが、特定兼用キャスクの型式証明に関する書面審査ということで、これは通常は型式証明に関する審査会合でやるものなのですが、今回、申請者がGNSというドイツの会社で、日本語で対面のやり取りが難しいということで、書面審査でやらせてほしいという希望がありまして、書面審査にしたというものになります。

申請資料などを見た上での、こちら側から判断事項とか質問事項などを書面にして、12月1日に向こうに渡したというものになります。

説明は以上です。

### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—